



堂々の10連覇! アバン史上最強チームへ!

優勝! 第十四回菜の花杯



アバンツァーレ公式会報誌
あばん
かおらばん
大賞

優勝インタビュー!

アバンツァーレ仙台SCキャプテン
6年生 高田まさき君
「みんなの欠点があり、自分達の成長を実感できた大会でした。今、チームは全日本少年サッカー大会に向けて、集中力が高まっています。目標はもちろん。宮城県ナンバーワンになって、全国大会に出場することです。アバンの仲間達に伝えたいことは『努力すること』です。アバン以外の活動でも手を抜かず、何事にも積極的に取り組むことが大切だと思います。自分もチームに入っははじめの頃は大変でした。左足のリフティング100回の課題をクリアするために来る日も来る日も涙を流して自主練習を重ねたこともあります。キャプテンという役割も、積極的に取り組むことで自分を成長させたと思います。アバンに入って良かった!」



インタビュー!

今月のインタビューは、
6年生 甲田まひろ君です!
■サッカーをはじめたのは?
「年長。岩沼スポ少ではじめました」
■得意なプレーは?
「裏へのパス」
■アバンに入って良かったことは?
「テクニックが身についた。もっともっとサッカーが好きになった」
■今、はまっているものは?
「歴史の本を読むこと。好きな歴史上の人物は野口英世です」
■親御さんへのメッセージ!
「アバンでサッカーをさせてくれてありがとう。大好きです。母の日には感謝しします」
■将来の夢、目標は?
「チームでスタメンをとる。日本代表選手(好きな選手は香川選手)大人になってもずっとサッカーを続ける」

2014年5月号

一言で10連覇といっても毎年、毎年、厳しい戦いの連続! 連覇は簡単なことではありません。プレッシャーもありました。先輩の伝統を引き継ぎ、今年もタイトルを死守!

<大会結果>

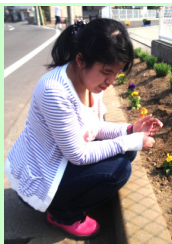
予選	vs いづみ	7-00
	vs Quinto	5-00
	vs 三川	8-10
準決	vs 御引	4-10
決勝	vs 峰栄	2-10

クラブの取り組み! 花を植えました!

毎月のゴミ拾い活動も数えること30回目!



お気づきになりましたか? アバン室内練習場の前の花壇に花を植えました。前田代表のアイデアです。雑草を抜き、丁寧に耕し、色とりどりのパンジーとラベンターを植えました。ラベンターの開花時期は初夏です。今でもいい香りがします。皆さん、ぜひお立ち寄りになり、なごんで下さい! また、恒例の『地域のゴミ拾い活動』も継続中! 一緒に街をきれいにしよう! 『ゴミを一つ拾えば、一つだけきれいになる』



AVANZARE Sports 「アバンツァーレスポーツ」

4月1日より、『アバンツァーレスポーツ』として、『放課後等デイサービス』を開所! ようやく軌道にのってきました。(放課後等デイサービスとは、小学生～高校生までの発達に心配のある子供や障害を持つ子供を、学校の放課後や長期休暇中にお預かりし、生活能力の向上や訓練を行う仕事です) 15年間のアバンツァーレで培ってきたスポーツ指導を活かし、地域社会に貢献していく心づもりです。皆様のご理解、温かいご支援を今後ともよろしくお願い致します。

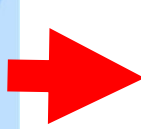


子供達の可能性は無限です!



ワクワク! お母さんいつもありがとう! HAPPY MOTHER'S DAY! 「似顔絵キーホルダ」

母の日、プレゼント企画!



同封の「キーホルダ・缶バッジ作成用紙」に自由に絵を描いて下さい!
お母さんの似顔絵は「アバン特製キーホルダ」にします。その他のデザインは「缶バッジ」にします。アバンで心のこもったプレゼントを! どんどん応募下さい。



参加型企画! クラブイベント 「アバン作文コンクール」

先月の「6年生をおくる作文」に引き続き、「アバンに入って良かったこと」の作文紹介です。たくさんの応募、ありがとうございました。ある子の作文を紹介します。



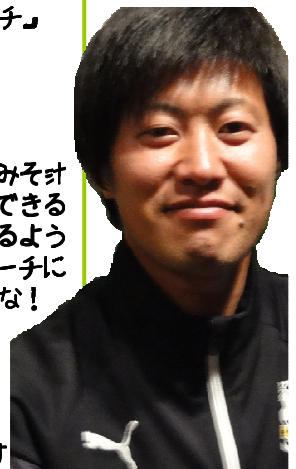
アバンに入って良かったこと。
ぼくがアバンに入って良かったことは、人としての基本を学べたことです。それは、上下関係、言葉づかい、あいさつ、靴の並べ方など、そういう礼儀です。ぼくは4年生の終わり頃にアバンに入ったのですが、はじめてアバンを見た時、一人一人がしっかり声が出ていて「ぼくが本当に入りたかったチームにはいったんだ」という気持ちになりました。しかし、サッカーのプレーは思った以上にアバンはレベルが高かったです。「下手くそだ」と言われ、すごく悔しい思いもしました。でも、その悔しさを「努力」に変えることを学びました。特にぼくは「リフティング」を毎日がんばりました。その時のリフティングの回数は10回~20回くらいしかできませんでした。でも、毎日努力をし、コーチにうまくなるアドバイスをもらい、なんと、60回はできるようになりました。ぼくはすごく「達成感」をあげました。

ある日、スクールの帰り、大きな声で「1、2、3、4」と体操をしている軍団を目にしました。それは「選手コース」の練習でした。「ぼくもあのメンバーに入りたい」と思い、コーチに「選手コースにはいっていいですか?」と聞いたら「これからもっと厳しい練習が続くぞ」と言われ「ちょっとダメか」と思ったけど、同時に「がんばろう」という気持ちも芽生えていました。今までのぼくは「もうダメ、あきらめよう」としかしてなかったけど、アバンに入ってたくさんの「勇気」を出すことも学びました。まだまだ努力しなくちゃ、本当のうまい選手にはなれないことも学びました。ただ、努力したおかげで、ぼくのリフティングの回数は418回になりました。そして、コーチがはじめて言った通り、前のぼくより10倍うまくなっていると思いました。ぼくを育ててくれたコーチの皆さん、本当にアバンに入って良かったです。



♡ コーチの紹介(第1弾)

島山明人(はたけやまあきと) 通称「はたけコーチ」
1980年(昭和55年)6月12日 生まれ
血液型AB型 ふたご座 ※本当の双子です。
双子の弟が仙台市内で介護の仕事をしています。
身長: 186センチ 体重: 78キロ
靴の大きさ: 30センチ 好きな食べ物: ご飯・みそ汁
「アバンのみんなが一生懸命で、仲間を大切にできること、サッカーが大好きで、コーチを感動させるようなプレーやチャレンジを見ることが幸せ! コーチになってよかったなあと思います」「アバンのみんな! 友達のことを思いやりながら、今そこにいる、これから出会う友達のために一緒にサッカーをしよう!」「練習前・練習中・練習後と仲間によい思い出をつくってあげよう!」これは、絶対に大切にしてほしい、はたけコーチの想いです



参加型企画! 世界で自分だけのオリジナル缶バッジ!

ワクワク! 缶バッジデザイン公募!

「缶バッジ・デザインコンテスト!」
応募方法 デザイン案をコーチに提出して下さい。データをメールで送信でもOK。手書きのデザインや文章でも構いません。わからない場合はコーチに相談して下さい。
採用されたデザインはアバン新・缶バッジとしてクラブで製作、プレゼントします! 親御さん、卒業生の応募も大歓迎! 自分だけのオリジナルバッジをアバンの歴史に残すべし!!



H26年5月採用 山形 翔山 諒介

H26年5月採用 山形 幸哉生

佐藤さんのアバン事務局通信

皆さんこんにちは。事務局の佐藤です。
毎年この時期は花粉症に悩まされていましたが、今年は比較的花粉の飛散量が少ないとのことで、例年よりもだいぶ楽に過ごせると安心していました。しかし、そのかわりに先日から親不知のあたりが痛く、ご飯を満足に食べられない日々が1週間ほど続いています。さすがにこの記事が皆さんの目に触れることには治っているとはおもいますが、今回の件を機に、これまで抜くのが怖くて抜けなかった親不知を抜こうと決心しました。改めて健康の大切さが身に染みしたので、皆さんもぜひ健康には注意してください。

